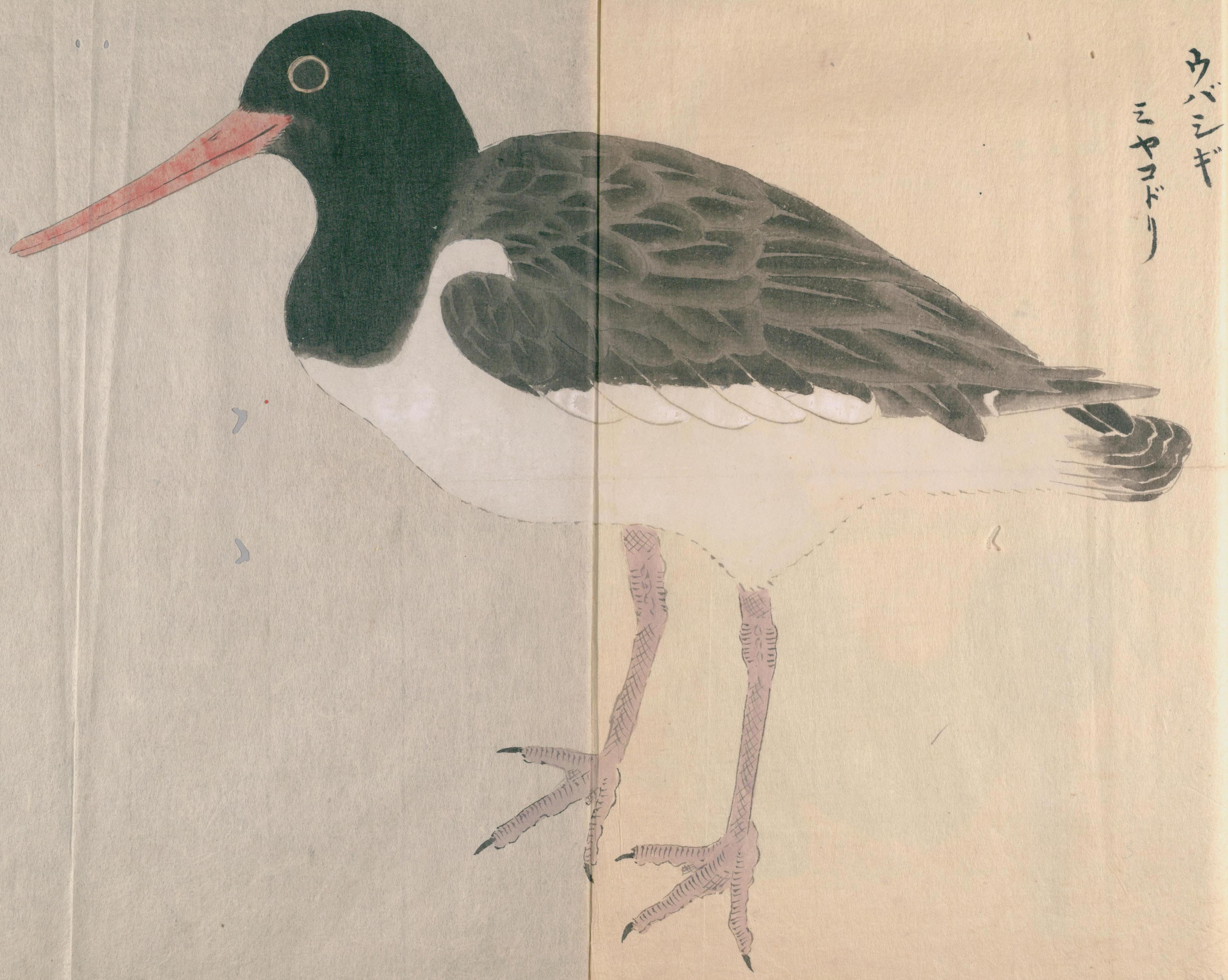
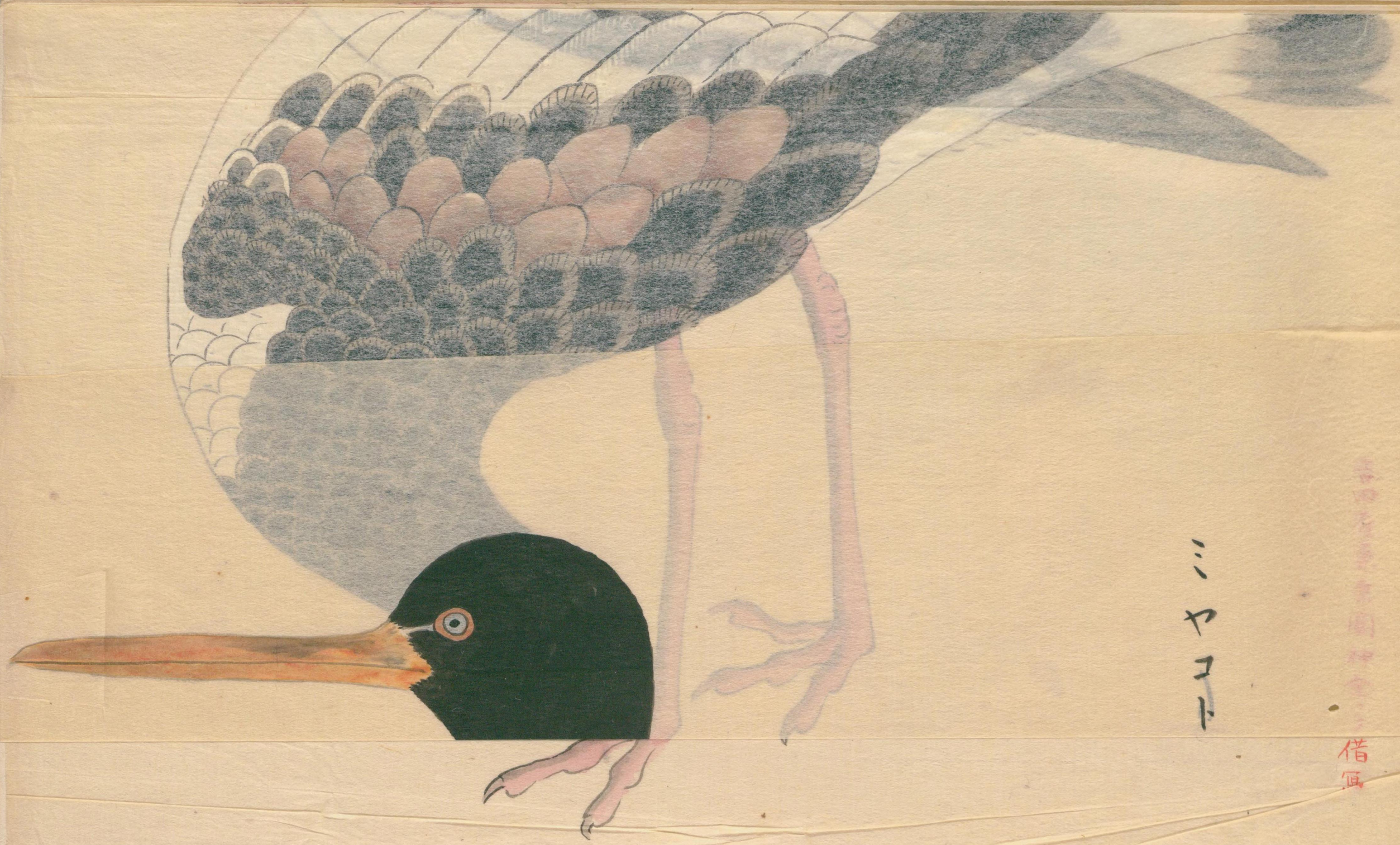


ウバシギ
ミヤコドリ

ガラス使用

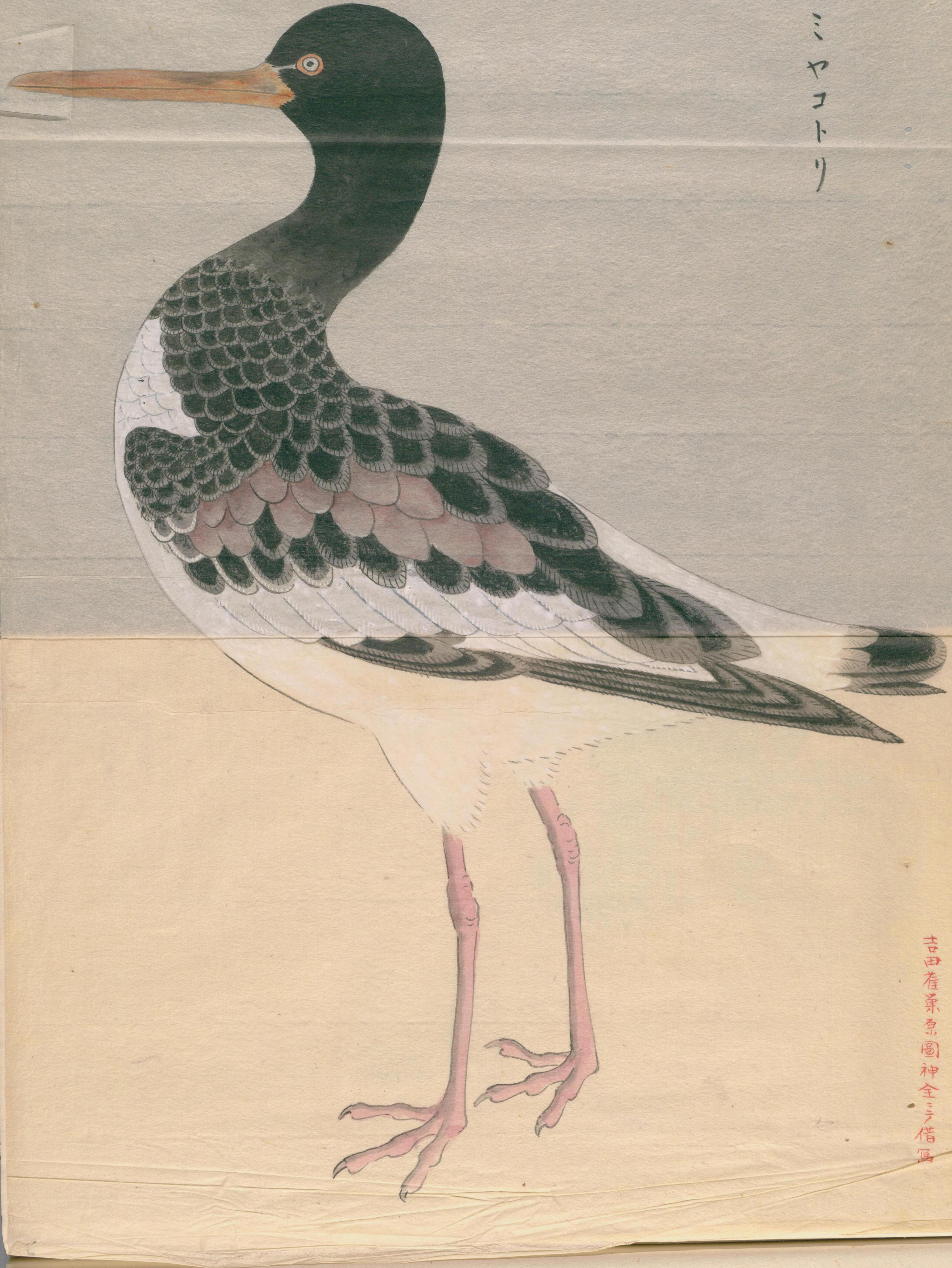


ミヤコド

借寫

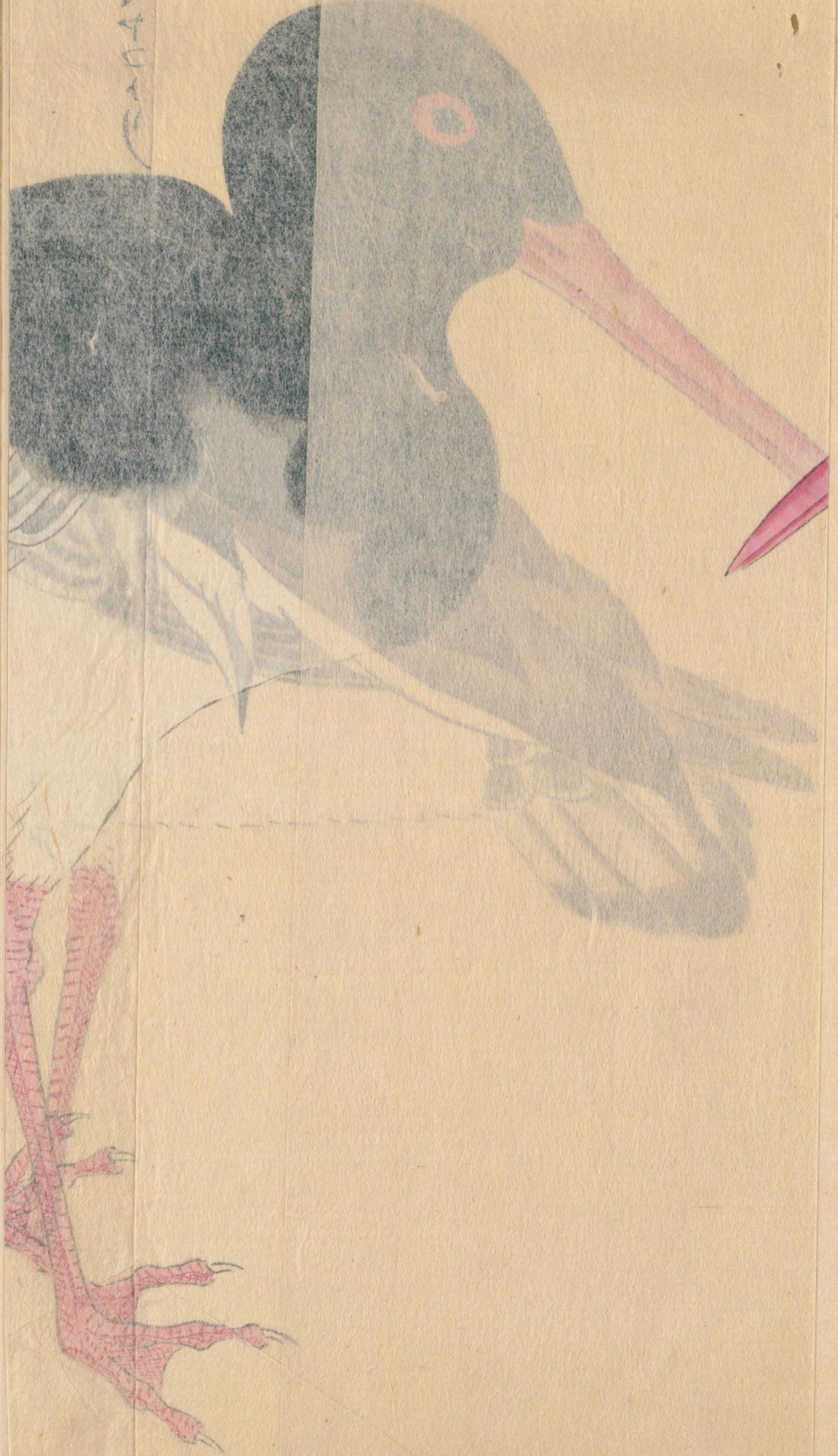
ガラス使用

ミヤコトリ



吉田雀巣菴圖神全ニ借寫

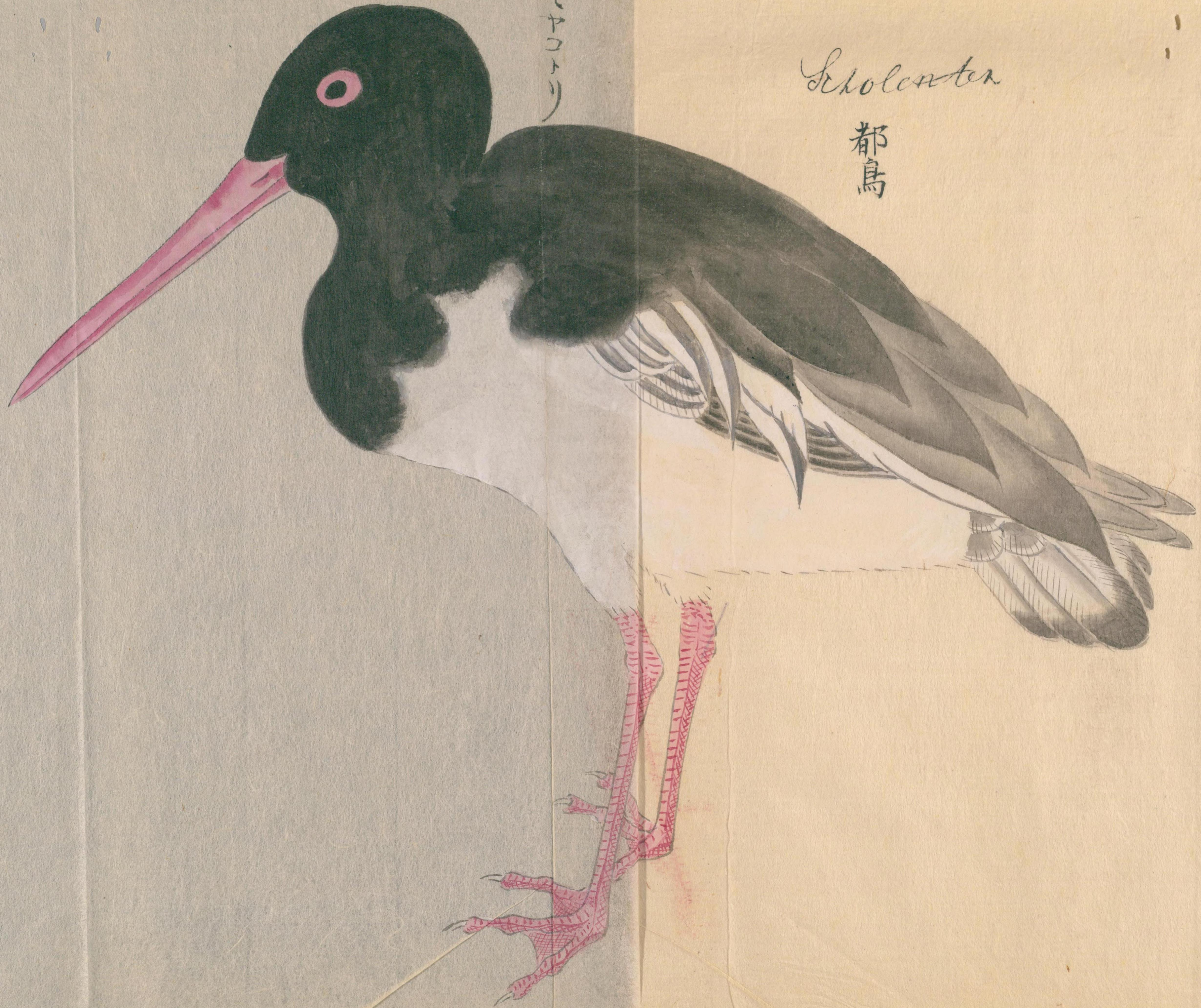
ミヤコドリ

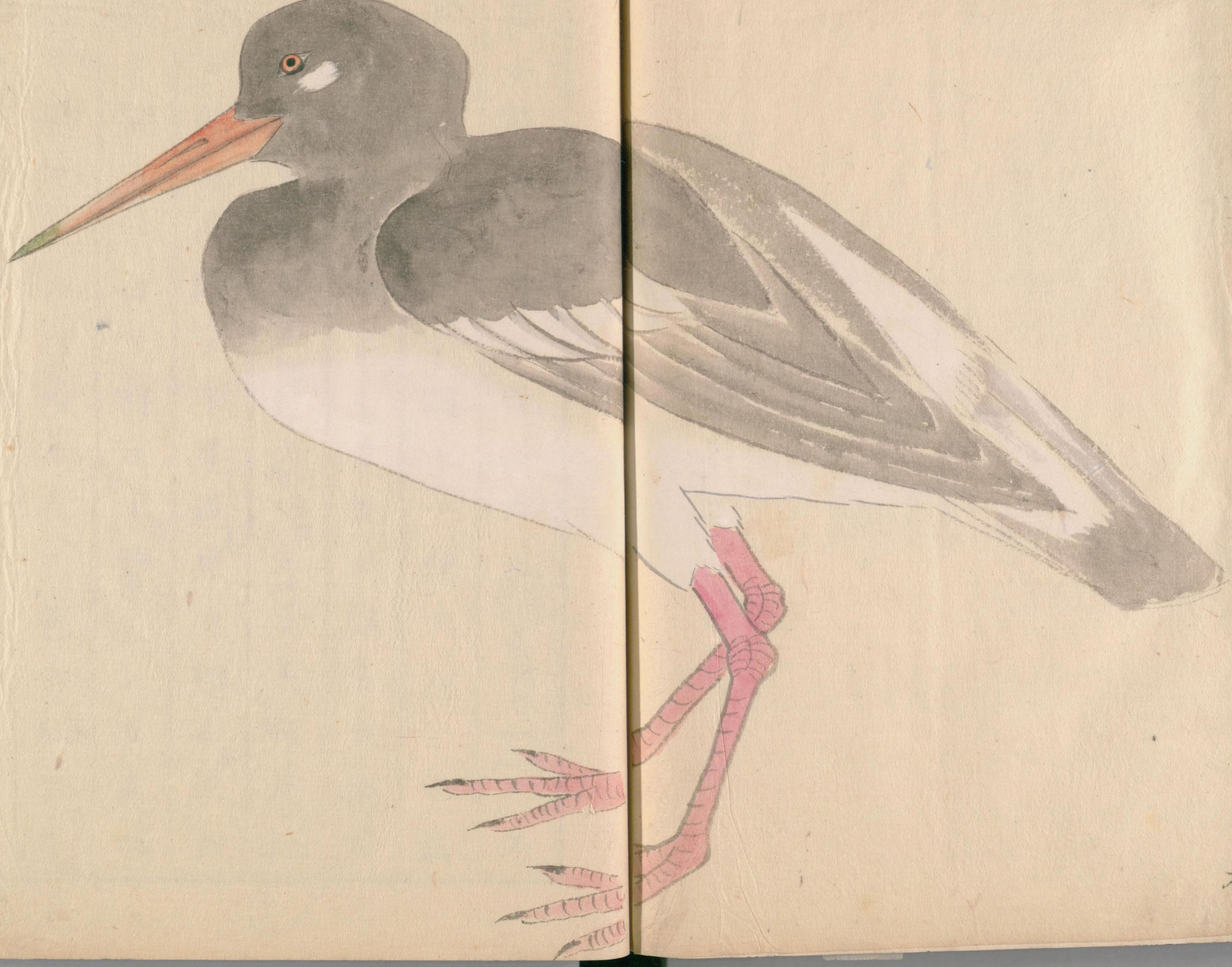


都鳥

Scholenter

ミヤコトリ





朴

按ニ都鳥ノ考諸説紛然トシテ一ナラ
ズ蓋シ此鳥ハ小鷗ノ一種ニシテ今茲（コヽ）
ニ圖スルガ如シ又或説ニ都鳥ト称ス
ルモノアリ一ニ之ヲウバシギ（同名異物アリ）ト呼ブ其形大抵
鷸（シギ）ニ似タリ頭ヨリ尾迠黒（色）ク翅モ（亦）黒ク
シテ翮上ニ白キ羽アリ觜ハ（一腹ノ色モ亦白ク）長ク（シテ）赤黄（色）ニ、
シテ脚モ長ク三指ニシテ色ハ（亦）紅（赤ミ）サ（リ）
腹ハ色ハ白シ（大ロ）ト云（ナキ）モノ即チ是ナリ此

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10　ガラス使用

東京ニテハ羽根田辨天ノ洲崎ノ邊ニ住シ隅田川ヘモ時々来ル者此鳥ハロ

鳥多ク八諸國海濱ニ近キ河水ノ邊ニ住ス觀ル所者ニシテ尾張ノ鳴海潟等ニモ時々來觀ルモノニシテ其名亦モヤコドリストバドリキ同名異物ナリト称ス然レドモ此鳥ハ前ニ所謂都鳥トハ別物ナリモ（此両説何レカ是ナルヲ詳ニセズ）ト云蓋シ古歌ニ詠スル者ニハ非サルベシ一説ニ亦茲ニ其圖ヲ附傍載シ参考ノ一二ニ備フト云

雖圧

錦窠記

アサクサノリ（河水ト海水ト混スル処ニ生ズル味美ナリ鹹水ノミニ生ズルハ凡）味不佳ト云雨降テ河水大（ニ漲ルトキハ味美ナリト云）

此海草ハ武州品川ノ海中ニテ採ル八月頃漁人花開クト云ヒ祝スルコトアリ然ルトキハ其年採得ルコト多シト云其花ト稱スルハヒビ（アサクサノリヲ生）ズル木ニメハンノキヲ用ユ秋彼岸初ニ柳ノ枝ニ着シテ白色艾納（マツノゴケ）ノ如キ者生ス次第ニ黄色ニ變シ後淡紫色ノ毛多ク生ズノ形第一末ニ扁小ナル葉状ノ者生ズノ形第二長ス

ルニ従ヒ反翻（ソリガヘリ）シ漸ク浅草ノリノ形ヲ成ス（茅ニノ形）

又一説ニ都鳥ト稱スル者アリ一名ミヤコシギ（尾張鳴海方言）ウバシギ（同名異物アリ）ハマシギ𪜈呼ブ其狀大抵鷸ニ似テ大ナリ頭ヨリ尾迠色黒クシテ白羽相交リ腹亦白シ嘴長クシテ赤黄色脚モ長ク三指ニシテ色亦赤キモノ即チ是ナリ此鳥多クハ諸國海濱ニ近キ河水ノ邊ニ任ムモノニシテ尾張ノ鳴海海邊ニモ時々觀ルモノナリ（十六夜日記ニ隅田川ノホトリニコソアリト聞シカド都鳥ト云鳥ノハシト足ト赤キトハ此浦ニモアリト云ヘリ此浦ハ鳴海ヲ云）又東京ニテハ羽根

ガラス使用

ガラス使用

問 伊勢物語に都鳥といふものやはり鷗なるや

答 歌学の抄書共鷗に似たるものにて別物なる事挙たれども 隅田川の名産にして近く見馴るときハ別物にあらじ

[illegible]

萬葉に鴨妻 加萬目とも女様に呼へと江戸にてハあ
ろどりといふ 江湖に多し常に漁浦に群聚（ムラガル）し魚を貪（ムサボ）
りて喧（カマビス）し網を引時ハ魚の水上に跳（オドリ）上るものを取り食ふ
形鳩より大にして觜尖りて長し脚と共に赤色なり頭
背灰色 腹白し是を江鷗といふ海鷗ハ和名おほかもめ
一名うミかもめ中国にてうハミと称し土佐にてかごめといふ
肥前にておほかがんといふ 筑前にて称ことりと云 筑後にて
称こさぎと云 上総にてうミ 称ことと云 武州本牧にてたま称
ことと云 奥民にてごめといふ（かごめの畧なり） 豫州にてあハこひどりと

云是海中のかもめ之形江鷗より大にして茶褐色なし多
黒白の斑（マダラ）ら交れるもの何ぞ潮の来る付必群飛して鳴
その声ごふ〳〵と云也又猫の声に似たり是に称こなる名
何字漢名にも海猫児（カイメウジ）（訓蒙字會）といへる一名あり又一種あし
かもめと云あり形鷗より大にして全身白灰色に黒キ斑ラ
あり皆脚共に黄色翅の端黒し尾ハ長くして首ハ鷲鳥
に似たりよつて名つく又大灘かもめとも云あり大鳥之翼
を張れハ六尺余もあるものゝ直龍翁の説に沖にあるを
かもめ礒に集るをいそちどり河に添合するを都なると

いふ是は說いまた未さだ追而辨すべし　又千鳥ハ
清ノ余曽三ノ百鳥圖に水喜鵲漳浦縣志に呼潮と云ふ
ものこれなるに種類十三に種ある鴴の字を千鳥と訓せ
るも未詳ちどりの種名を挙て云ハうミちどりハちどり
うき千鳥あふ千鳥さんざくちどりしろちどりへらちどり
くさちどりいかるちどりうつゝちどりこちどりむなしろち
どりめだいちどり等之都なるを流布に冬季となす事
延寶四年杉村友春ノ撰する温故日録に見えたり蕉門
その他諸家に不及

此説不用

都鴫（伊勢物語） 都鴫（鳴海方言） 伊勢物語扶桑集ニ記セリ
状シギニ似テ大ナリ目黄環赤ク其外白郭嘴
長大根赤褐（ニシテ）末黄ナリ足高ク淡紅三指頭ヨリ
胸及脊翎ノ上ニ通リ尾ノ端黒シ胸下ヨリ翮
根ヘ迴リ翅端尾ノ本純白ナリ
伊勢物語ニ鴫ノ大ニメ嘴ト足ト赤ク白キ鳥
ト云ニハ違ヘ𪜈白羽多キ故白キト斗云シモ
シルベカラス

（芳齋會譜）

ガラス使用

といふ鳥のはしと足と赤きハ此浦のもありけり
梅本庵 [illegible]

都鳥集説

伊藤圭介先生集

本草正偽ニ、本朝食鑑ニ、鴎ヲ都鳥トス、大ニ誤レリ、
鴎ハ大サ鳶ノ如ク、灰白色ニシテ觜足倶ニ黄ナリ、都
鳥形小クシテ鷸ノ如シ、翅ハ白ク黒点アリ、觜足共ニ
紅ナリ、尾州鳴海辺ノ海濱ニアリ、都シギト云、阿佛
十六夜日記ニ、鳴海ノ浦ニシテ、都鳥ヲ見ル歌アリ、
是ニ合ヘリ、武州ノ海辺ニモ有之、野必大ハ東都ノ
人ナリ、隅田川ノ都鳥ヲ辨ゼザルハ何ゾヤトイヘ
リ、此説是ニ似テ反テ非ナリ、鴎ハ前ニモイヘル如
ク、品類多シ、江鴎ナドハ觜脚赤シ、鷺鴎ナドハ觜脚
黄ナリ、又淡黒色ノモノアリ、黄ト限ルヘカラズ、又

といふ鳥のすかたを見て去きし此浦のもありけり
梅尓尾
治之

都シギハ、勢州及ヒ熊野海辺ニモアリ、濵シギトモイフ、此鳥ヲ以テ都鳥ニ充ルヨリハ、本州海辺所々ニヲル、方言「紅カモメト」イフモノアリ、春月ハ細鱗（アユ）魚ノ子ヲ追テ紀伊川上ニノボリ、鴎ト交リ居ル、鴎ノ屬ニシテ、形鴎ヨリ小ク、味脚共ニ朱色、全身白色ニシテ、捕ヘミレハ粉紅色ノウツリアリテ至テ美ナリ、勢語ノ文ト能合ヘリ、按ニ清異録ニ、隋官者劉継詮、得㆓芙蓉鴎二十四隻㆒以献、毛色如㆓芙蓉㆒トイヒ、清ノ周櫟園ガ閩小紀ニ、莆田ノ九鯉湖中ノ鴎作㆓粉紅色㆒、嬌艶異常（又明ノ謝肇淛ガ文海披沙ニモ芙蓉鴎ノヿアリ）ト云ルモ此屬ニ成ルヘシ、實

浜鷸ノ条
[illegible]
一名山シギト
アリ

ニミヤコドリハ、鴎ノ屬ニテ、マジハリ居ルモノナレバ、鴎トヒロクミル説穏カナレド、鴎ハ古クヨリカモメト云名アリテ、都鳥トハイハズ、形状マゴトニ紅カモメニ似タレバ、コレ都鳥ナルヿ疑ナシ、和歌者流秘事口傳ナドコトゞシクイヘバ今詳カニ辨スル也、

桃洞遺筆

といふ鳥のはしと足と赤きは此浦にもありけり
梅尓屋 浩之

（啓）鷸ノ条 ミミ[illegible] 一名山シギト アリ

竹鶏ヲヤマシギニ充ツル説アリ一名ウバシギスシバシギアマシギ巨云フ此ハシギノ品類ニ〆竹林ニ栖ムモノナリ常ノシギヨリ大ニ〆鳩ホドアリ形鶏ノ嶋ニ似テ喙長ク尾至テ短ク〆頭小ナリ全身黄褐色ニ〆黒キ斑文アリ翅ノ下両脇ニ白黒ノ斑文アリ食用ニ上品ナリ豫州伯州ナドニ居ルハ形大ニ〆嶋雞ホドモアリ（啓蒙増）

とりあるのをしを足と赤きハ此浦のもあり
梅園尾 浩之

ガラス使用

文部省

ミヤコミギ 嘴ニ白色少ハアリ 腹ニ白

Townsend's Oyster Catcher 色赤

此図

Swinhoe V. 249. R.ニ出

御府本

漢ニモ川ニモヨメリ然レド和哥ノ松諺ガ

[illegible]ニアラズ近キ

頃[illegible]香ハ黒キ鳥ノ嘴脚丹クメ鵜ノ如

クナルヲ西海ニ在リトテ人ノモテハヤスヲ

見レガ都近キ所ニアルベキ鳥トモ覚ヘズ伊

勢物語ニ白キ鳥トアルニモ事違ヘリ音ヨリ

イヒ習ハセシ都鳥大方ハ鷗ノ形状ニヨク合

ヘリ然レド故キ書ニカモメト都鳥トヲ二所

といふ鳥のはしと足と赤きハ此浦にもありける

梅尓尾
浩之

[illegible]

とふ鳥のあしを足と赤きは此浦のもあり　梅尓尾　浩之

うぢちどり　みやこどり　鴎（ヲモミヤコ鳥ト云説アリ）

ミヤコ鳥ハ大井川難波堀江越ノ海八十島其外海ニモ川ニモヨメリ然レ𪜈和哥ノ秘訣ナドイヘバシヒテ説ヲナスベキニアラズ近キ頃都鳥ト云者ハ黒キ鳥ノ觜脚丹クメ鵁ノ如クナルヲ西海ニ在リトテ人ノモテハヤスヲ見シガ都近キ所ニアルベキ鳥トモ覺ヘズ伊勢物語ニ白キ鳥トアルニモ事違ヘリ昔ヨリイヒ習ハセシ都鳥大方ハ鷗ノ形状ニヨク合ヘリ然レ𪜈故キ書ニカモメト都鳥トヲ二所

文部省

ガラス使用

ニ出セルヲモテ怪ム人モアレド鵂鶹ヲ庭タヽキトヨミ稲負トモヨミテ和名鈔ニモ二所ニ出セリカヽル類多ケレバ強テ怪ムニ足ラズカレヲモイヒ是ヲモイフ者間アルベシ今世ニモテハヤス黒キ鳥ハ唯觜ト脚トノ赤キヲモテ後人ノ附會セシモノニテ本名ハウバチ鳥ト云者也トゾ眼及ビ觜丹紅脚ハ觜赤色前三指ニシ後指ナシ千鳥ノ属ニテ大ナル者ナリ

（将翁軒禽譜）

う部ガ

一種ノ蚊母鳥一名ウバシギ

又将翁軒禽譜云 雉ニ似テ形甚大抵マシギニ似テ大ニ色黒ク（此部ニ於ル名出テ云ク）其色ミニテ白星文ヲ生ス觜ト足之ト浅黒ミニ赤尾羽シギニ云 又一種形ノ山シギニ似テヤヽ大ニ彩大抵山シギト同シ咽ヨリ胸ヘ方テ黄赤色ノ斑アリ背ノ方大ニ肩ノ色ヨリ眼ノ生シケレ

といふ鳥のをしを足と赤きい此浦にもありけり

梅尔尾 浩之

ガラス使用

一 觜ウス黒クシテ赤ク脚ハ殊紅也
山しぎノ美之

梅是亦やましぎ 梅尾云七九
指多ク名ウヅシギト云美之

都鳥

形状大抵シギニ似タリ頭ヨリ尾迄黒ク翅モ黒クシテ翮上ニ白キ羽アリ觜長クシテ赤黄ニ脚モ長ク三指ニシテ色ハ紅ナリ腹ノ色ハ白シ伊勢物語ニ隅田川ニ白キ鳥ノ觜ト足ト赤キシギノ大サナル水ノ上ニ遊ビツヽ魚ヲクウ京ニハ見ヘヌナレバミナ人見シラズ渡守ニ問ケレバ是ナン都鳥ト云トイヘリ彼ハ白キ羽毛ノ多キヲ見テ偏ニ白キ鳥ト云ヘル又他ノ禽ナルカ一説ニカモメヲ都鳥ト云是非ヲ

といふ鳥のはしと足と赤きは此浦にもありけり

梅尔尾
浩書之

ガラス使用

シラズ

右将翁斬禽譜

梅尓都鳥ノ考ノ諸説紛然トシテ一ナラズ

蓋シ此鳥ハ小鷗ノ一種ニシテ今諸ニ図スルニ絆

ルガ如シ又或説ニ都鳥ト称スルモノアリ一ヲカバ、肖鈑

将翁禽譜ニ都鳥ハ其形大抵シキニ

似タリ頭ヨリ尾迄黒ク翅モ黒クシテ

翮上ニ白キ羽アリ觜長ク赤色光艶アリ

脚モ長ク三指ニシテ色ハ紅ナリ腹ノ

ミサコ

といふ鳥のすかたを見て赤きハ此浦のもありける

梅尓庵
浩斎之

ガラス使用

又東京
ニテハ羽
秋田ニ於テ
嶋ヶ淵ニ佼し
前田川ニて
附し来るとぞ云
此鳥
口名異物アリ

色ハ白し（もゝ足）其ゑ即チ是ナリ此鳥（絵ノ如シ）
諸國海濱ニ游ヒ河水邊ニテ觀ル住
ソノ所ニテ尾張ニ海濱等ニ多シ
此ニモ満江（是迄）ニ鴨鶺（此）歟 此ニモ人ノ見ル所ノ具
名ニヤヲドリ 又宗ハニヤト云 鳥（和ス）是（此鳥）ハ前ニ所
偶鶴鳥ハ別物ト云 篇ニ在録スニ訴見
モノニハ非ナルニ 斎藤ニ在國ヲ附載

何れも是ニハ知る也 因テこゝ
二種ハ其事を甚 因ハ學者ニ
志の為 荒渡の國を併セ載ける學者
為ニ其事ハ綴らるゝのこと 載る
叶而説何にも是ハよく洋名セし雌と雄
かさの二種の鳥の図を並らべ併載せし
學者乃參考ニ備ふる而已

といふ鳥のもものを足と赤きハ此浦にもありけり
桜井尾張
浩斎之

三十丁

都鳥　伊勢物語ニ京鳥　蘆隠
又　城鳥ニ作る　先人御説云く古本ニ
鴎とあるハ草書から誤しるなんと八雲御
抄屋隠鳥ハ都鳥の事也といへり京近き
所にもありと見されたりされハ隅田河堤の
海邊濱飾磨なとかの猪名播磨高砂
宮輪田の御所まてみへたりなとあれもなりて又和歌
歌枕に家集共和泉式部なりける
非なる物のうち鳴けれハとある古今集
浅の浦信和泰和にとかこともあるを啓上

といふ鳥のはしと足と赤きハ此浦にもありけり
梅尓尾
浩之

[illegible]

人に乗せられたるを成季（なりすゑ）にあつけられたり
食物なとも云ひかなひつゝきをくゝも　又名
所せくかなえて當家為作者半の所之すて
飼せられしを建長六年十二月廿日前相模守
の冨小路の亭に行幸ありし次の日相模守　云へ
とりそめして献後に使へりるてさあとし
女房よりたりて
（ほそうてらすかをもとしけしうへよこけに叢舞　云こ）
（のくつかふうれ）
鵰田鵰の事ことをを當黄ましむるの相
同し　又両辰記行に鵰鳥は白黒他のその
るれ好子の人として飼て家ならに
こまことに此鳥を見て赤き鷺（しらさき）の大さなり
この鳥は蛤を好ふ小ゐかたは云けるをりとふる
按に鵰鳥は鷗（かもめ）の一名として白鷺なる
者もまた羽の状色なるもあれと隋も鯨
白きに雨羽のつくはかし黒きと多し
或人口鵰物に大小の二種ありて大なるは

三十

といへる鳥のをしを足と赤きは此浦のもあけりて
梅尓尾
治之

鷗の如く小なるハ鳩の如しと又或人云
奥東の海濱にありて形大なるもの
其声猫に似たり故に俗呼んで濱
猫とよぶ別ニ食料とてこ阿（の河）ニあるもの、
小鷗なり常ハ海上にありて風荒ニ
時ハ渚ニ浪の静なるを求めおりて游ぶ
浮（たゞよ）ひおくりて其余所〻にありけり
其外ありてハ種〻の方言ありて名を異（ことに）す
伊勢物語ニハ時しも白き鳥の嘴（はし）
と足と赤き鴫（しぎ）の大きさなる水の上ニ
あそひつゝ魚を
此鳥を都鳥のなをを問人ありて云
古今集ニハ川の辺にあそひけりとありて
ことゝり得けし伊勢物語ニハ水の上ニ
あそひてといひ是ハこれしやと思ひて
いふ時ハ鳥のなも忘れてあそふニ故ニ
云も辺ニ住もあるへし此ハ此問ハ頌ニ此ハ

といへる鳥の嘴と足と赤きハ此浦にもありけり
梅尓尾
浩意

まのたろを志下せんとてや祠を祭つらんと

此鳥は前にもあれとも在五中将の頃に云々

なりて専ら隅田河の景物と成　下略

右江戸名所図会ニ出

又角田川梅尾叢話ニ

都鳥ニ就ていふても栖所を

至稀ニもとは海の中ニあるを見當

されと暖を好む鳥にて寒き地ニ栖ことも多

然れハ角田川ニ居る時ハ多くは春なれハの弁夫

[illegible]

のなかにしろく

あそひけると云るなるへし　合せ

といふ鳥のおしきを足と売きに此浦にもありける　梅尓尾　治之

これ梅[illegible]云ふ[illegible]

梅花鶉[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅[illegible]鶉 入[illegible]

且[illegible]

[illegible]

廿八へ[illegible]

蓋し此鳥ハ常ノ鶚ニ見ルヨリ様[illegible]

とりの名のをしを足と赤き也 此浦のもありける

梅尓庵
述之

ミサゴ

一 雲錦翁所蔵　赤き小路図上ニ説ケルアリ　此島の事　ケリカモメ　の説

一 厨人必用　寛政年中　佐藤氏作

都鳥　田鳥大きさ　白く嘴と足と
赤し水上を遊泳て魚を食ふと云又鷗の（カモメ）多
き所にも居り西土にても都鳥と称する鳥
背は黒く腹白く嘴足赤しと尤
其の形に似て異形なりとも云

桜爾都鳥ノ考諸説紛然トシテ一ナラズ且
隅田川ノ流モ古今相同シカラスト云ヘハ都鳥ノ来リ棲ムノ
蓋シ此鳥尋常ノ鷗ト見ルヲ穏カナリト
以或説ニ此鳥ハ小鷗ノ一種ケリカモメト称スル

桜爾 都鳥ノ考諸説紛然トシテ一ナラズ
且隅田川ノ流モ古今相同異ナリト云ヘハ此都
鳥ノ来リ棲ムノ池モ亦古今其時ニ随テ同異
蓋シ此鳥尋常ノ鷗ト見ルヲ穏
（カモメ サルベシ）

といふ鳥のはしと足と赤きは此浦のにありける
桜爾庵

ナリ又ハ或説ニ小鷗ノ一種ナリケリカモ
メト称スルモノ（ナリト）ニシテ[illegible]テ證シ

[illegible]

[illegible]

頭黒ク胸黒ク背黒ク腹ト股脚白シ
両羽裏皆白ク尾先黒シ、嘴ト足赤シ
嘴長シ、眼ノフチ赤ク、飛ヲ下ヨリ見レハ白
キ鳥ニ見ユ、上ヨリ見下セハ黒シ足ハ千
鳥ニ似テ水掻少シ有ル三指ノ足也啼
声ヒヤウ〳〵ト鳴、鹿鳥ノ声ニ似テ和ラ
カニ又或時ハ鶯ノ谷渡ト云如ク ツヽケテモ
鳴ル至テ声ウルハシ、多ク群（ムラガリ）鳴ハサワツト思フ
（同出リ カモメ美ニシテハ無手方シ）

とりの鳥のあしを足と赤きは此浦のもありける
梅尓尾 治売

ミサコ

塩ノ海干ニ従ヒ海渚ニ出テ餌ヲ求
水辺ヲ好ミ鴎（カモメ）鵜ノ如ク深水ノ上ニ浮テ
餌ヲ求ムモノニハアラシ

古今集 川ノ辺ニ遊フ[illegible]ニヨリ
合ツリ
筑前續風土記云 都鳥ハ千鳥（ケリ）の
[illegible]ある鳥[illegible]
云〻

万葉集 加萬目 （通音ナリ）
万葉集 [illegible]と詠

万葉集 都鳥堀江川よ添ス ○鴎 （かもめある[illegible]の浦 [illegible]）

伊勢物語 鴫のた[illegible]とある[illegible]鴫の羽根と云

鴫ヲシキトヨムハ和俗ノ所製也云〻

○鷸（シキ）觜長ク大サツクミヨリ小ニ腹（ハラ）長ク背（セ）ノ毛茶褐色（チャカチイロ）ニシテ足長シ脛（ハギ）少長シ尾白ク尾ノ先黒キ文アリツハサノ裏ニ白ク小ナル文アリ本草ノ鷸ニアヘリ又羽マタヲシキハ羽ニ斑點（ハンテン）多シ腹白シホトシキヨリ少大也觜長シ味（アジハヒ）ハホトシキニヲトル。小シキ。山シギ薄墨（ウスズミ）胸黒（ムナグロ）鴫（シギ）。トウ子コ。首王シキ。常ニ蚓（ミヽズ）ヲ取食フ是ヲ

といふ鳥のをしと足と赤きは此浦のもありけり 梅尓尾 法意

シロシキト云尾先白キ故ニ名ク。マタラシギ。メタカヤタヽリ。カヤクス。京女シキ。觜ノ長シギ。メタイシギ。黄足シキ。シヤクシキ。山シキ此外品類多シ皃鳴ハ夜深ク鳴ク羽ヲ為ス閑寂ノ趣ニ称ス鳴羽搔ト

夏秋最多シ

（此ノ種類ニテ觜ト足ノ赤キモノハ都鳥ト江鷗ナリ）○江鷗　首ヨリ脊ヲカケテ灰色ニシテ腹白シ觜ト足赤ク左右ノ目ノ脇ニ黒点アリ大サ鳩ノ如シ鷗ノ内此江鷗ヲ以テ都鳥ニ充シモノカ

○大鷗　トキノ形ニ似テ黒ク斑アリ首白ク腹白シ脊灰色ニシテ薄シ觜長シ海辺ニ栖ム

○鷗　水辺ニ多シ大サ鶖ノ如クニシテ嘴尖ル尾ナシ白色ニメ微シク灰色ヲ帯ブ又白キアリ

一種海中ニ栖ヲ海鷗ト云

○シイラ鷗ハ鳩ニ少シ大キク首黒ク腹白ク羽先黒シ（貝原云信天翁鷗ニ似タリ淡青白色ニノ喙長シ）

○水鶏（ケリ）　大サ鳩ノ如シ其羽灰色ニメ羽先黒シ觜ト足黄ナリ冬間味最吉

ナヘケリ　水鶏ノ類ニテ関東ニテイヌケリト云。

ケリ〳〵鳴ク故ノ名ナリ

「大和本草云武蔵国隅田ニ栖都鳥ヲ以テ為ス鷗都鳥」

といふ鳥のはしと足と赤きは此浦にもありけり　梅尒屋

ミサコ

未知是否篤信按ニ西土ニテ都鳥ト称スル鳥アリ背黒ク腹脇白觜ト足赤シ觜長シ水鶚形ニ似テ其形ウルハシ伊勢物語ニ云都鳥是ナルカ（都鳥考）

是ハ何ナル訳スルヤ吟味

鷗カモメ　此都鳥ト云モノ是ナリ又ハシ黒ク足黄ナルアリ是ハ風キリ黒シ又頭黒キモノアリ是ヲヨケリカモメト云加賀ノ方言

鷗　食物本草　釋名　鷖鳥音（鷖）水鴞

夫満渡紛然トシ一

此形状

△注同名異物アリ

ナラズ蓋シ此鳥ハ小鷗ノ一種ニシテ今茲ニ図スルガ如シ又或説ニ都鳥ト称スルモノアリ一ニ之ヲウバシギ△ト呼ブ且其形大抵鷸ニ似タリ頭ヨリ尾迄色黒ク翅モ亦黒クシテ翮ニ白キ羽アリ腹ノ色モ亦白ク嘴ハ長クシテ赤黄色脚モ長ク三指ニシテ其ノ色ノ紅ナリ此鳥ハ諸國海濱ニ近キ河水

とふ鳥のはしと足と赤きは此浦にもありけり　梅尓庵

ミサゴ

ガラス使用

「未」知是否」萬信按ニ西土ニテ都鳥ト称スル鳥ア
リ背黒ク腹脇白ク觜ト足赤シ觜長シ水鶚形ニ似
テ其形ウルハシ伊勢物語ニ云都鳥是ナルカ（都鳥考）

此形状

△住
同名異物アリ

鷗 本草 釋名 [illegible] 音 [illegible]
鷗 食物
（[illegible]）
（[illegible]）
（[illegible]）

[illegible]ハシ一
二種ニシテ分テ茲
都鳥ト稱スモノ
アリ一ニ[illegible]其ハ形大抵ニ平〔鷗
ニ似タリ頭ヨリ尾迄色黒ク翅モ赤黒クシテ
翮ニ白キ羽アリ腹ノ色モ赤白ク嘴ハ長
クシテ赤ク黄色脚モ長ク三指ニシテ[illegible]
色ハ紅ナリ此鳥ハ諸國海濱ニ近キ河水

ミサゴ

と[illegible]鳥のはしと足と赤きハ此浦のもあり[illegible]
梅尓麗 [illegible]

「翔天

ノ邊ニ多ク有リ住スルモノニシテ尾張ノ
鳴海鴫等ニモ時ニ観ルモノ尠シ又東
京ニテハ羽根田洲崎邊ニ住シ隅田川
ヘモ時ニ來ルト云此鳥前ニ所謂モノト
ハ亦別物ナリ此両說何レカ是ナルヤ詳ニ
セズト雖モ茲ニ併載シテ學者ノ参
考ニ備フト云

其後日記ニ
スミタリノアタリ
ミコソアリト聞
ヘ古トニハヤコトリ
ト云鳥ノハシ
ト足トハ赤シ
此浦ニモアリ
ト云ヘリ此浦

形状大抵シギニ似タリ頭ヨリ尾迄黒ク翅モ黒ハシニテ翮
上ハ白キ所アリ嘴長クシテ赤黄ニ脚モ長ク三指ニシテ
色ハ紅ナリ腹ノ色ハ白シ伊勢尾張ニ隅田川ニ白キ多
ノ嘴ト足トハ赤キシギノ大サナルハ上ニ遊ヒシ魚ヲクラウ
京ニハ見エズナレバミヤコ人見シコトズ居テ向キハ是ナシ都トリ
トモ云ト云リ脩ハ白キ羽毛ノ鷺キヌケテ居ル白キ多ト云ヘル又
他ノ鷸ナルカ一説ニ定メ之伝是非ヲ此ニラズ

語ノ文ニ能合ヘリ又清ノ周櫟園ガ閩小紀ニ蒲
田九鯉湖中鷗作粉紅色嬌艶異常ト云ヘルモ此

といふ鳥のはしと足と赤きは此浦にもありけり

ミサコ

ノ邊ニ多ク住スルモノニシテ尾張ノ

[illegible]

ミカフ

といふ名のはしと足と赤きは此浦のもありけり

梅尓庵
治忠

都鳥ハカモメノ屬ナリソノ名始テ萬葉集ニ出ツ又伊勢物語ニモ見ヘタリコレニ數説紛々タリト雖モ阿州ニテ都鳥ト云ヒ紀州ニテ紅カモメト呼モノヲ眞物トスベシ春月ハ香魚（アユ）子ヲ追テ潮ノ往來スル川上ニ登リ水邉沙上ニ群ヲナス形鷗ニ似テ背ハ灰色ヲ帯ヒ腹ト翼下ハ白色ナリ故ニ飛ブ時ハ白ク見ユ捕ヘ見レバ紅色ノウツリアリテ至テ美麗觀ルニ堪ヘタリ伊勢物語ノ文ニ能合ヘリ又清ノ周櫟園ガ閩小紀ニ蒲田九鯉湖中鷗作粉紅色嬌艷異常ト云ヘルモ此

ガラス使用

文部省

屬ナルベシミヤコドリハ鷗ト雜リ居ル者ナレバ鷗トヒロク見ル說モ穩ナレ𪜈鷗ハ古ヨリカモメト云和名アリテ都鳥トハイワズ形狀ベニカモメニ似タレバ即都鳥ナルコト疑ナシ和歌者流祕事口傳ナドコトゞシク云故ニ今詳ニ辨ズト桃洞遺筆ニ見ヘタリ

（啓蒙）

形狀大抵シギニ似テ頭ヨリ尾ニ至リ黒ク翅モ黒クシテ翮上ニ白キ羽アリ觜長クシテ赤黃ニ脚モ長ク三指ニシテ色ハ紅ナリ腹ノ色ハ白シ伊勢物語ニ隅田川ニ白キ鳥ノ觜ト足トハ赤キシギノ大サナル水ノ上ニ遊ビツヽ魚ヲクウ京ニハ見エヌナレバ皆人見知ラズ渡守ニ問ケレハ是ナン都鳥ト云トイヘリ彼ハ白キ羽毛ノ多キヲ見テ偏ニ白キ鳥ト云ヘル又他ノ禽ナルカ一說ニカモメ之ト云是非ヲ

ミサフ

とりかへるのをしを足て走きい此浦のもあらう

梅尓屁
浩斎之

ガラス使用

ミサゴ

とつ鳥のあしを足と赤きハ此浦のもありけり

梅尓尾
法意之

[illegible]大也身淡黒

[illegible]雜リテ班文多

[illegible]白ク目ノ上赤

[illegible]爪共ニ黒シ雌

[illegible]アリ其他ハ雄

[illegible]雷震セスト云

[illegible]志云雷舞ナラ

知ラス

鄒鳥（ミヤマトリ）閩粤多有之
其状大如鸜鵒而黒
色微白色嘴脚並赤
色肉味不佳故人不
食之 後蓋ノ梅園日記

[illegible]

加賀州白山ニ栖ト云形鳩ニ似テ大也身淡黒
ニシテ黒文アリ又柹色白色相雜リテ班文多
ク翅腹白シ目赤黒色ニシテ環白ク目ノ上赤
シ觜ハ黒ク脚ニ柹色毛アリ指爪共ニ黒シ雌
ハ全躰黄赤色ニシテ淡紅班文アリ其他ハ雄
ニ同シ都而此鳥ノスムトコロ雷震セスト云
雷鳴ノトキハ飛舞スト云南山志云雷舞ナラ
ン

ミサフ

といふ鳥のあしを足と赤きハ此浦にもありけり

梅尓尾
浩爲之

鶽鳥（こやつかり）閩東多有之
其状大如鷓鴣而黒
色頭白色嘴脚並赤
色肉味不佳故人不
食之　後漢ノ司馬目云

加州遠来巻三代果鶽鳥ノ従セシソ来ニ
実ニこやつかりハ鵁（カモメ）の属ニモあらず[illegible]
それにも鶽とひとつらに従[illegible]
[illegible]

雷鳥　雷舞

加賀州白山ニ栖ト云形鳩ニ似テ大也身淡黒ニシテ黒文アリ又柿色白色相雑リテ班文多ク翅腹白シ目赤黒色ニシテ環白ク目ノ上赤シ背ハ黒ク脚ニ柹色毛アリ指爪共ニ黒シ雌ハ全躰黄赤色ニシテ淡紅班文アリ其他ハ雄ニ同シ都而此鳥ノスムトコロ雷震セスト云雷鳴ノトキハ飛舞スト云南山志云雷舞ナラン

といふ鳥の觜と足と赤きハ此浦にもあり
梅尓庵
浩誌之

ミサゴ

ミサゴ

2457

Townsend's Oyster-catcher.

Haematopus Townsendi, Aud.

ニシギ類ノ都鳥ノ図アリ嘴赤ク脚ハ桃色ナリ（全身）黒色ニシテ翅ノ下腸白色ノ部分許アリ

Oyster.ノ美名ニテ雀ノ図アリ

右図ハニウヨルク（一千八百五十六年出板）John James Audubon, 著亜墨利加禽譜第五巻ニ出

Birds of America.

（表紙ニ此名ノミ記入）

とつくにの[illegible]を足と赤きハ此浦のもあらん

梅东屋浩志之

八

按ニ此鳥赤道洋ニ産ス ニ「ケレーゲル」ト名ク禽譜ノ説ニ此鳥全身長サ十五梅アリ嘴ハ黄紅色ソノ若キ者ハ赤褐ニシテ端ハ黄ナリ脚ハ暗赤眼ハ紅黒且上部ノ羽及ヒ頸ヨリ胸ニ至テ黒シ但尾ノ前半分（ホールヘルフト）ト尾ノ覆羽（デッキヘーデレン）翅上ノ濶バント。胸腹倶ニ白色ナリ」初ハ「ケレード」ハ（暗色ニシテ多少ノ褐ヲ帯ブ）多ハ狭キ白色ノ襟（カラーゾ）アリ」羽スト（巣）ケレートド」ハ「プレヒーレン」ニ酷タ相同シ」歐羅巴ノ諸海濱、和蘭ニモ住ム」

ハ頸ハ

ミサフ

といふ鳥のすかたを見て
赤きハ此浦のもありけり
梅尓麓
浩意之

ガラス使用

砂山ニ巣ヲ営ム其食ハ魚類ヲガルナール
虫等ニシテ鷸ノ如ク沙ヲ掘リ之ヲ求メ或ハ
嘴ヲ以テ介蠣其他海濱ノ諸産ヲ翻シ
取リ食フ

頸背胸ニ至テ黒シ尾ノ前半分ハ尾ノ
覆羽翅上ノ闊（ガンドペモ）胸腹（共ニ白シ）初ノケレ
ドレハ暗色ニシテ多少ノ褐ヲ帯ブ頸ハ（多クハ）狭キ白地
襟アリシ（巣）ホスキケードレハコプレヒレンシニ酷タ相
似ハ（同ニ）ソノリシ此鳥ハ欧羅巴ノ諸海濱和蘭
ニモ住シ砂山ニ巣ヲ営ム（云々）ソノ食ハ魚類
ヲガルナール虫類等ニシテ鷸ノ如ク沙地ヲ穿チ之ヲ求
或ハ嘴ヲ以テ介蠣其他海濱ノ諸品ヲ反シ（翻）

ミサゴ

とりあるのあしを見て赤きは此浦にもありけり
梅尓麗
浩意之

武蔵国隅田川考　（字子木）中神守節述

按るに今も隅田川のほとりに鷗とよぶ二種
あり一ツハ大にしてはし足共もさのミあからず
一ツハ小にして大鷗のなりにてはしと足ことに
赤し是都鳥也尋常ニ二種共多くいを
見とめて居たりし舟人に問へハともに鷗といふ
といへり万葉集舟にも中略十六夜日記
ニ隅田川のほとりにてありやなしやととひけん都鳥
といふ鳥のはしと足と赤きハ此浦にもありけり
（梅尓尾 洛忠之）

之ヲ采ル

ガラス使用

こゝろを茂しと見ゑあらまほしけさし
みやこの都名かと契沖法師云或人の云都鳥
は鴨よりちいさし故ニ都鳥あるかとあれ共中々
京ニて見ぬ鳥なれはちいさくとも是は
かの物語ニ鴫の大さとはかけるをと
中記日本書紀ニ云武蔵国隅田川在武蔵
下総之界ニ水深有舟有鳥曰都名嘴足皆赤
形似鴨好食魚昔在業平来過詠和歌云

ミサゴ

湖廣省東洲の土産ニ鶚鴇鯡を訓せり

和訓栞中編巻二十五

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10　ガラス使用

ニ[illegible]を[illegible]しで是とハあら[illegible]しかさし

[illegible]の郭ろいも[illegible]中[illegible]

今ノ世ニモテハヤス[illegible]千鳥ハ[illegible]當ト[illegible]

京キヲモテ後人ノ附會[illegible]ニテ本名ハ

[illegible]千鳥ハミ皆也トシ[illegible][illegible]當丑仁[illegible]

[illegible]ノ[illegible]前三[illegible]ニシ後[illegible]ナニ千鳥[illegible]

ニテ大ナル[illegible]鳥ハノ集メ[illegible]九州[illegible]

都鳥

萬葉集ニ、布奈藝保布（フナギホフ）、保利（ホリ）江（エ）ノ可波乃（カハノ）、美奈伎波（ミナギハ）爾（ニ）、伎為都々奈久波美夜故杼里香蒙（キヰツヽナクハミヤコドリカモ）、トミエタルヲハジメニテ、伊勢物語ニ、ナホユキ〻テ、武蔵ノ國ト下總ノ國トノ中ニイトオホキナル河アリソレヲスミダ河トイフ（中畧）シロキトリノハシトアシトアカキシギノオホキサナル水ノウヘニアソビツヽイヲヽクフ京ニハミエヌトリナレバミナ人ミシラズワタシモリニトヒケレバコレナン都鳥トイフヲキヽテ名ニシヲバヽイザ

湖廣省東洲の土産に鶚鴝鵌と訓せり　和訓栞中編巻二十五

ミサゴ

ガラス使用

[illegible]

コトヽハンミヤコドリワガオモフ人ハアリヤナシヤト云々阿佛(アブツ)尼ガ十六夜日記ニ尾張ノクニ鳴海ノ潟ヲ過ルニ（中畧）スミダ河ノワタリニコソアリトキヽシカド都鳥トイフ鳥ノハシトアシト赤キハ此浦ニモ有ケリコトヽハン觜ト足トハアカザリシワガスムカタノミヤコドリカモ此外古歌多シ大抵ハ藤原長清ガ夫木和歌鈔契沖(ケイチウ)ガ勢語(セイゴ)臆斷(オクダン)ニ載レハコヽニ畧ス海ニモ河ニモ濱ニモヨミ又色ハシロクテ嘴ト足トハ赤キヨシイヘルモノ多シ予按ニ都鳥ハ諸説紛々ニシテ一ナラズ下學集ニ鴎日本ニ所謂都鳥者(ト云)歟トイヒ臆斷ニ及ビ季吟ガ伊勢物語拾穗抄真淵ガ伊勢物語古意千蔭ガ萬葉集略解ナドニ鴎トセリ本草啓蒙ニモ此説ニ従フマタ近年高田與(トモ)清十六夜日記殘月鈔ヲ著シテ鴎トスルノ説千古不易ノ確論ナルベシトイヘリ鴎ニ品類多シ本草啓蒙ニ詳ニスレバコヽニノセズ都鳥トハ野必大ガ本朝食鑑ニ曰京師歌客語レ予曰伊勢物語ノ都鳥者鴎也京客不レ知二鴎鳥一據テ二其形閑麗ナルニ一有二美夜ノ称一予未レ知二其真偽一焉トコレシロキ鳥ノ嘴ト足

湖廣省東洲の土産に鶚鴣鮓を訓せり　和訓栞中編巻二十五

ミサゴ

こゝろを[illegible]見え[illegible]あるまもしつかし

[illegible]

ト赤シテミヤビタル貌ユヘニミヤコ鳥トイフトノ説ナリ残月鈔ニハ本草啓蒙ニ鷗ヲ子コド理（筑前）子コサギ（筑後）海子コ（上総）ハマ子コ（武州）トヨブヨシイヘリコレ鳴聲ノ猫ニ似タルガ故ナリ源氏ノ若菜ノ下ニ猫子ウヽトイトラウタゲニナケバト有今打キクニハニヤウヽトナクガ如シ鷗モミヤヽトナク声ノ子ウヽトモニヤウヽトモカヨヒテキコヘテ猫ノ声ニイト近ケレバ某猫トイフ名ヲモヨビシナリサテ都鳥ノミヤハ声ニヨリテオホセコドリハヨブコドリミサゴド

リナドノ小鳥ニ同シク大鳥ニ對スヘシ称ナリトイヘリミヤコドリノ義両説トモニタシカナラズ猶考ベシ又都鳥ヲイニシヘ鷗ト書ス此字ヲ考ルニ字書ニ見ヘズ勢語古意ニ鷗ノ字ノ草書ヨリ誤レルモノナリトイヘリ（以上鷗ヲ都鳥トスルノ説也）

湖廣省東洲の土産に鶚鴟鯡を訓せり　和訓栞中編巻二十五

ミサゴ

ガラス使用

小鷗ノ字

其状鷗ニ似テ背ハ淡黒色腹ハ白色ナリ嘴口脚共ニ赤色ナリ ○ミヤコシギ 原本 鳴海方言 あ

翮ハ鳥羽根也

都鳥ノ名（萬葉集又伊勢物語ニ出ヅ）諸説紛然トシテ一ナラス或説ニ小鷗ノ一種ケリカモメト称スルモノナリト今玆ニ図スルカ如シ又一説ニ都鳥ト称スルモノアリ一名ウバシギ（同名異物ナリ）ハマシギト呼ブ亦其圖ヲ附出ス其形状大抵鷸ニ似テ大ナリ頭ヨリ尾迫色黒ク翅モ亦黒クシテ翮上ニ白キ羽アリ赤黄色脚モ長ク三指ニシテ色亦赤シト云モノ即チ是ナリ此鳥多クハ諸国海濱ニ近キ河水ノ邊ニ住ムモノニシテ尾張ノ鳴海邊ニモ時々観ルモノナリ

相リ[illegible]亦し

文部省

ミサゴ

湖廣省東洲の土産ゟ鴈鴣鮓を訓せり

和訓栞中編巻二十五

二ちゝを並ならて見さいあらさしつゝさし

こゝを芝をしと見えあるきをしつさし

[illegible]

二種共ニ茲ニ図スルガ如シ（図）此ミさ

十六夜日記ニ隅田川ノホトリニコソアリト聞シカト都鳥ト云鳥ノハシト足ト赤キハ此浦ニモアリト云ヘリ此浦ハ鳴海ヲ云
又東京ニテハ羽根田辨天洲﨑辺ニ棲
三隅田川ヘモ時々来ルト云此鳥ハ前ニ所謂
ハ鷗都鳥ト云ハ別物ナリ茲ニ其圖ヲ併載シ以テ参
考ノ一ニ備フ蓋シ都鳥ハ鷗類ト見ルヲ妥ナ
リト云

此ミヤコシギハ西洋ニモ亦産ス

○此ミヤコシギハ西洋ニモ

此鳥西洋ニモ亦産ス「ヘマトピユス　オスタラレギユス」ト云「コシケレーゲル」氏ノ禽譜ノ説ニ此鳥全身長サ十五㮃アリ嘴ハ黄紅色ソノ若キ者ハ赤褐ニシテ端ハ黄ナリ脚ハ暗赤、眼ハ紅黒且上部ノ羽及ヒ頸ヨリ胸ニ至テ黒クシテ尾ノ前半ト（ホルヘルフト）ソノ覆羽（ボツヂヘデレン）。翅上横紋又胸腹倶ニ白色ナリ「欧羅巴ノ

ミサゴ

湖廣省東洲の土産ニ鶚鴟鮓を訓せり　和訓栞中編巻二十五

ガラス使用

ミサゴ

湖廣省東洲の土産ニ鶚鴣鮓を訓せり　和訓栞中編巻二十五

諸海濱ハ和蘭ニモ住ミ砂山ニ巣ヲ營ム

其食ハ魚類蝦蟹美ヲ取ル鷸ノ如ク沙ヲ掘（魚虫ヲ）

リ之ヲ求メ（魚蝦）或ハ又嘴ヲ以テ介螺等ノ他海濱

ノ諸産ヲ翻シ取リ食フ

これを芸きして見えたあらましつゝさし

こゝを世をして見る人あらまほしいかさし

[illegible]

ミサゴ

湖廣省東洲の土産に鶚鵃鵌を訓せり　和訓栞中編巻二十五

ミサゴ

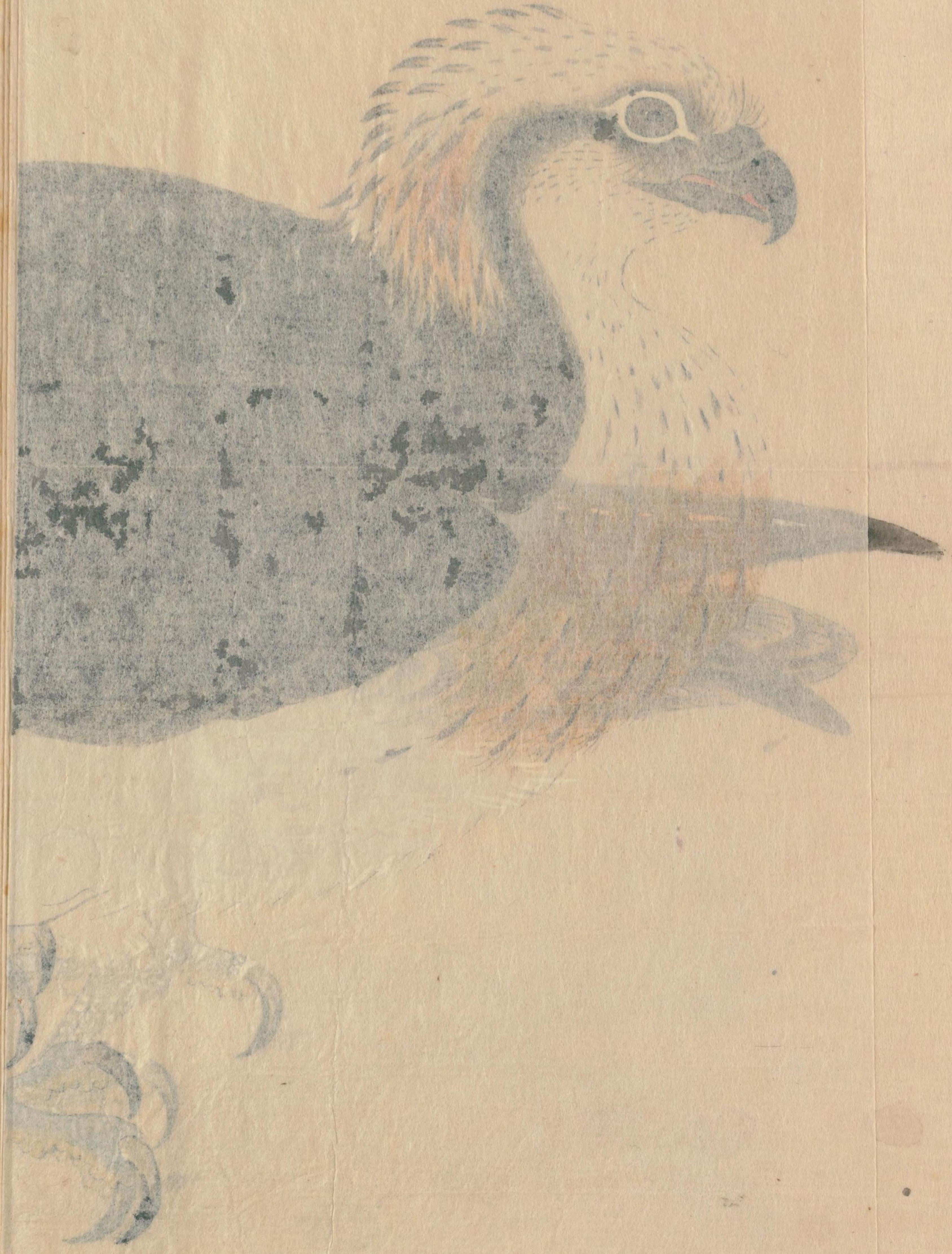
みさご　万葉集に水沙児とかけり新撰字鏡和名抄に鴡鳩を訓せり或魚鷹又鵃又鶚をよめり水鷓鴣の轉なるべし一種尾の白き者あり白鷹也といへり東海にはみちご薩州にてひしやこともいふ持紀へ○みさごのすしといふ華夷通商考湖廣省東洲の土産に鷓鴣鮓を訓せり　和訓栞中編巻二十五

こゝろを世をしりて見るにあるさましりけさし

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10　ガラス使用

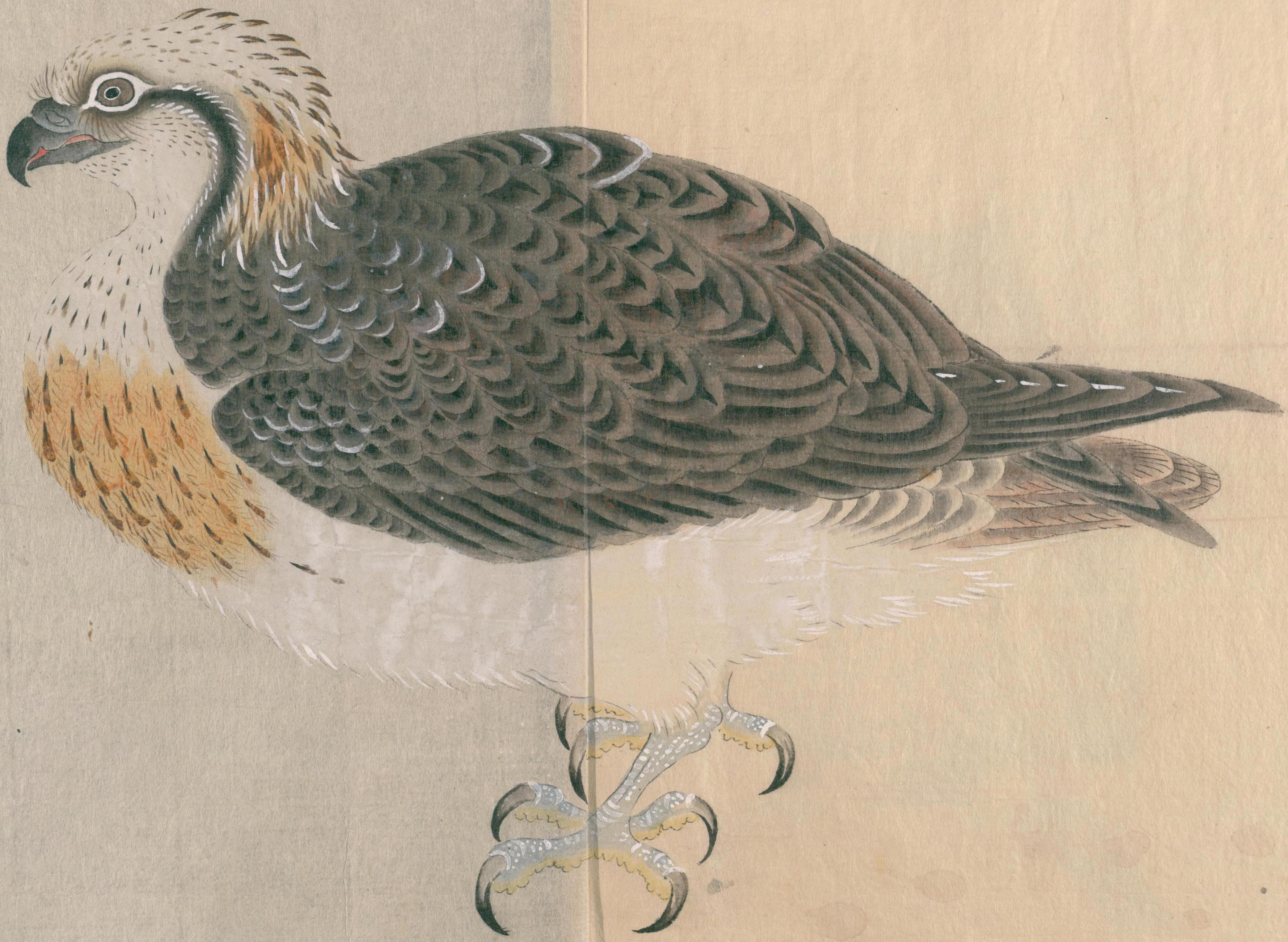
ミサゴ

ミサゴ



ガラス使用

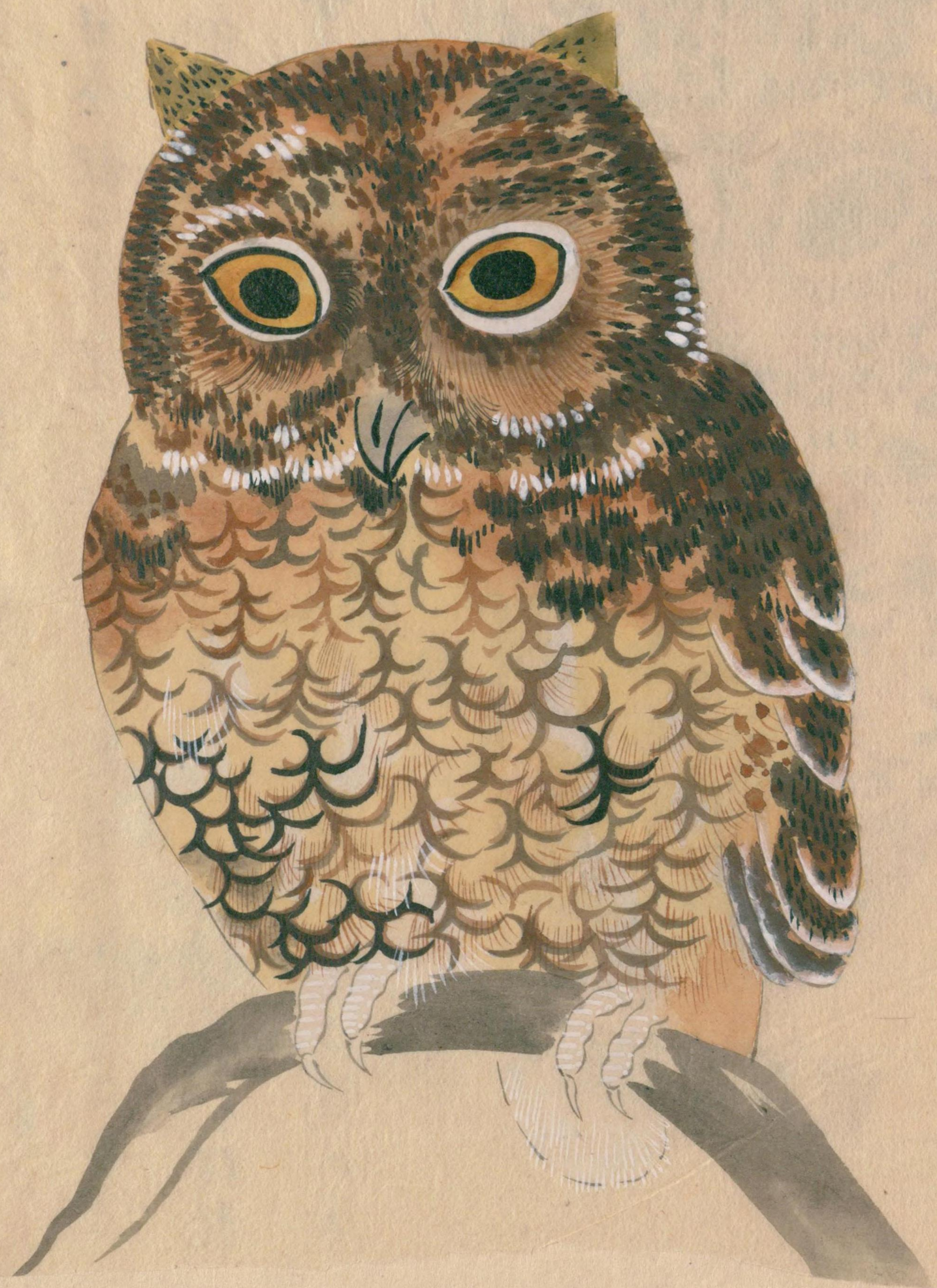
ミサゴ

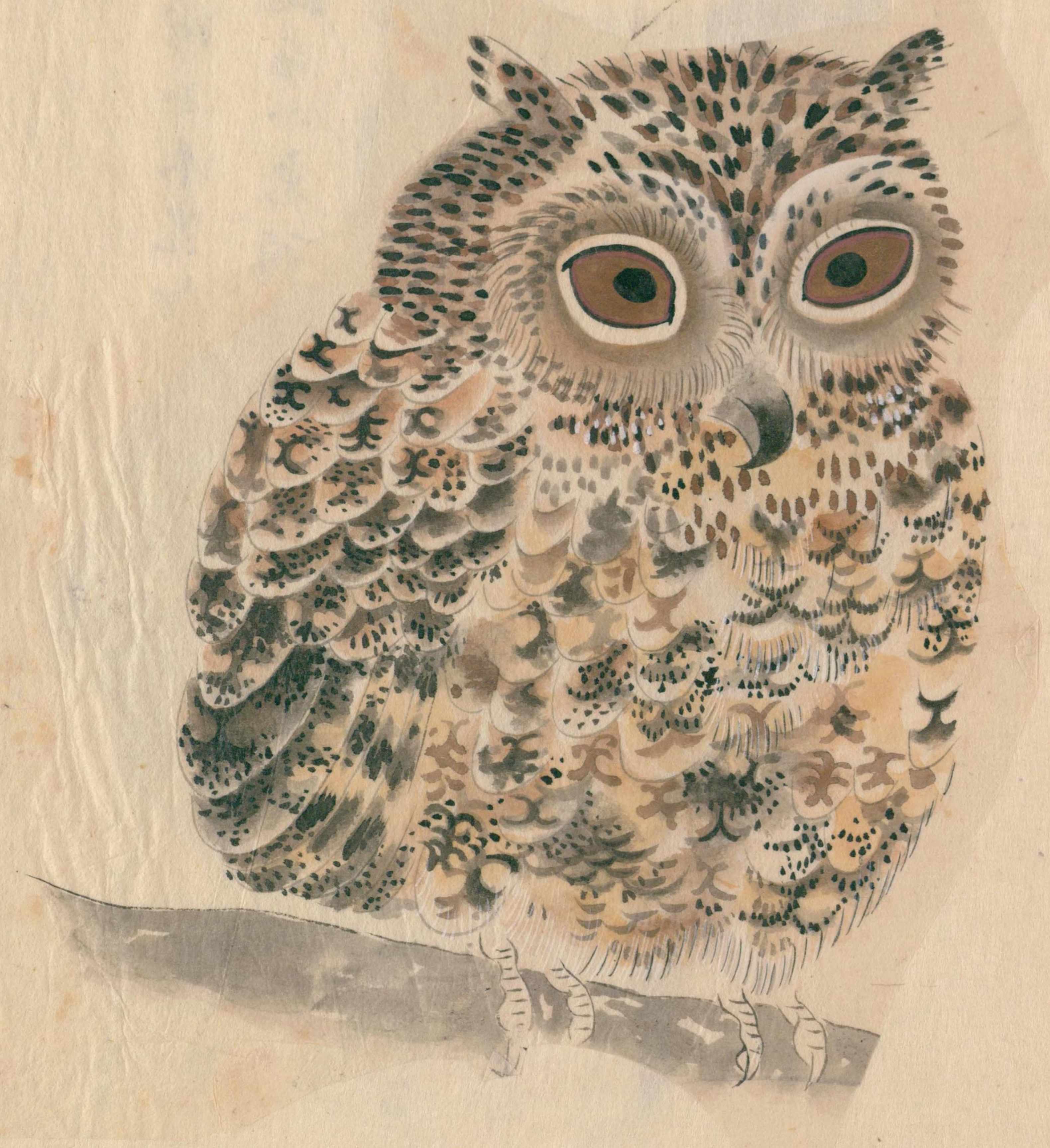


ガラス使用

猫頭鳥　埃

ミミヅク





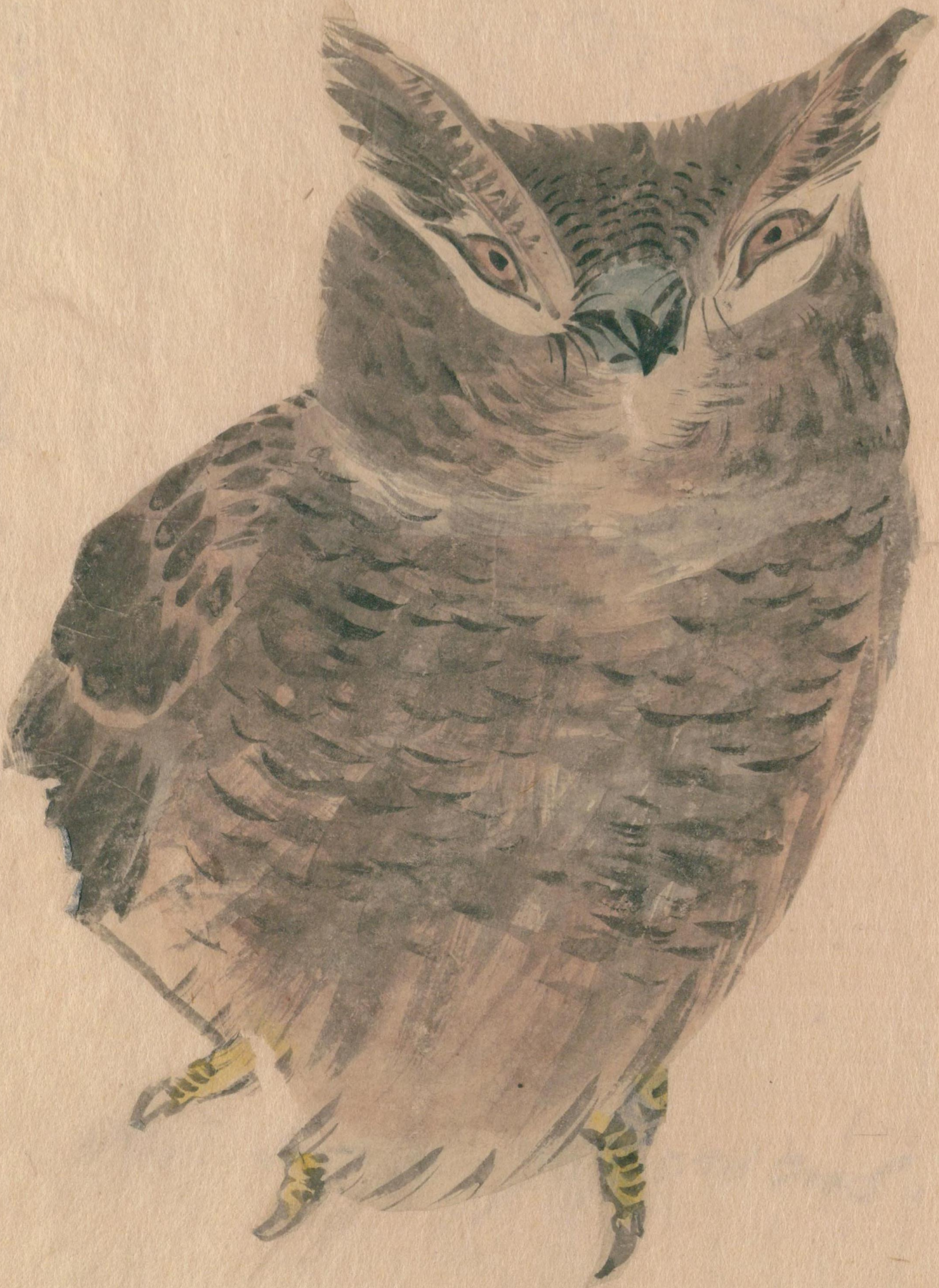
問　木兎とミづくと訓て正字にや　[illegible]

答　和字なり日本紀に木兎(ヅク)とあり是より用ひ来る文字なり

漢名　鵂鶹といふ是之一名　猫頭(メウヅ)鷹(ヨウ)（本経逢原）夜猫子（盛京通志）猫頭

鳥（五雜組）なといふものあり訓蒙字會に夜猫といふハ鴞の事

なるへし



づく

順抄に木兎を注したり　尓雅の注を引く　木兎似鴟而小兎頭毛角者也和名都久或云美ゝ都久

日本紀私記に筑紫州地形如木兎故名之　その名仁徳記にもみえたり

曼竹木晁出数

（い）補　新六帖に光俊　山風に嶺の柴ふかれし声言し　侘こつくもきこゆや都とろく

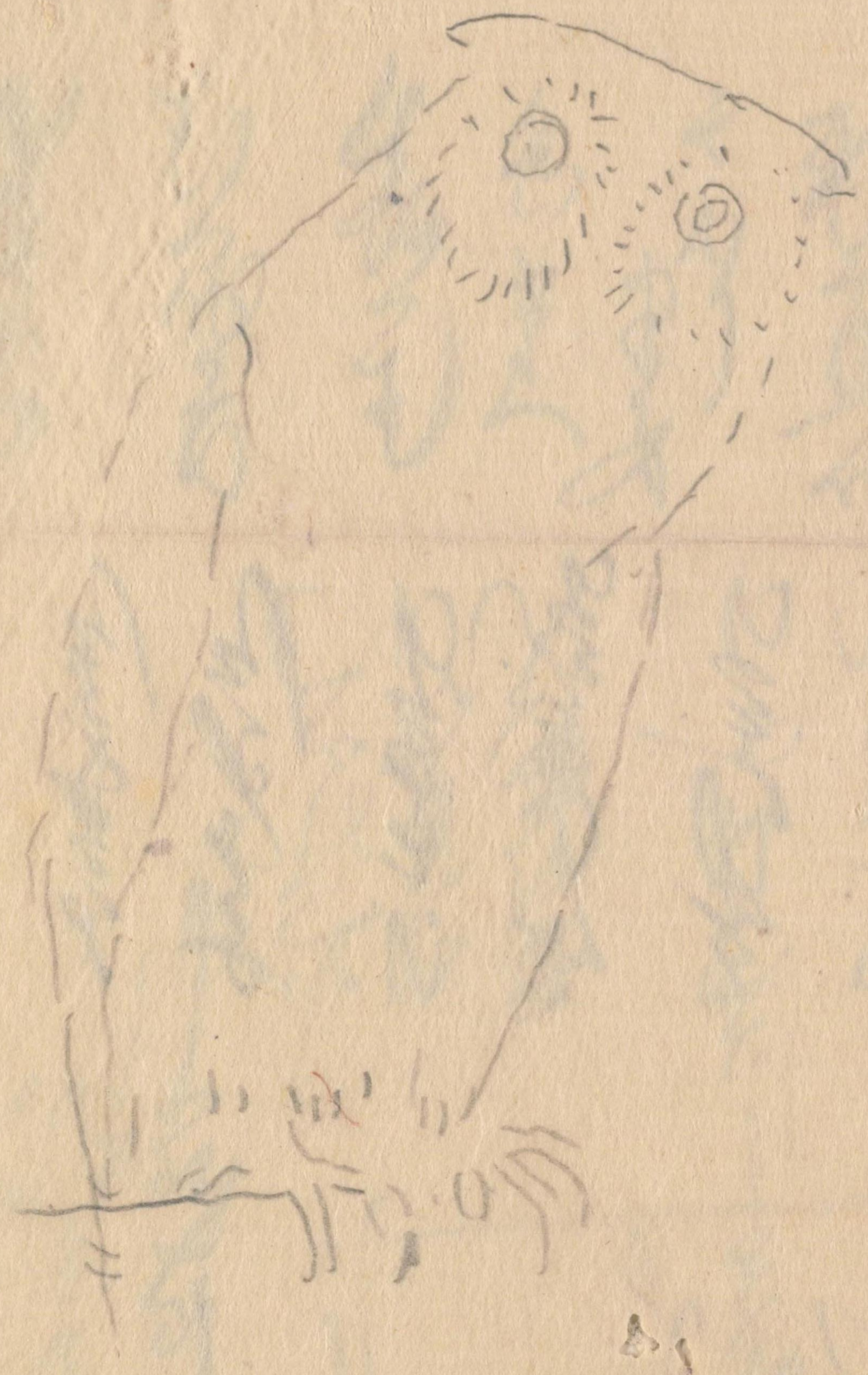
ガラス使用

Siebold's Fauna Japonica, Aves.
Tab. IX.

コノハヅク　カキヅク

稚氏日本禽フ

コノハヅクス



Otus Scops japonicus.

Otus Scops Japonicus Temminck et Schlegel.

[illegible]

特 7
20
97

別 11
20
10

ガラス使用

ガラス使用

ゲンキン　キンザン

カン文鳥フ

ブンキウ

月ノ字リ又鳥

打ツハラ

キン

白か竹は鳥へ入ル

なる

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用　挟み込み物